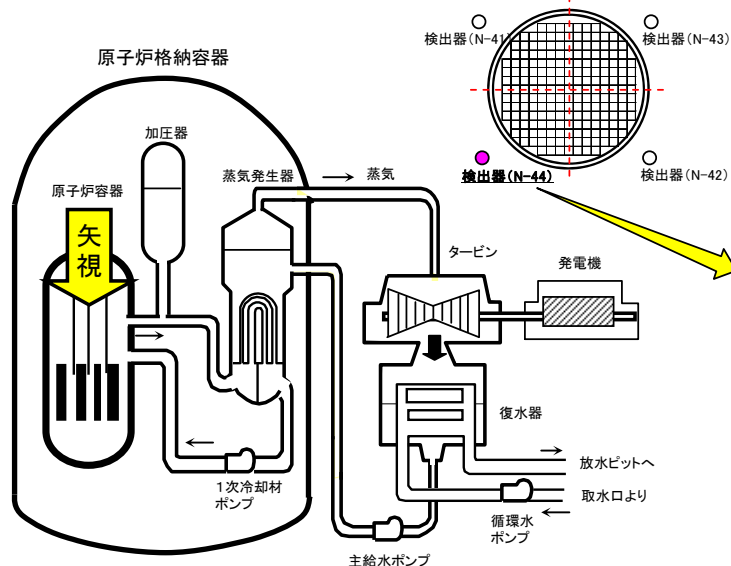


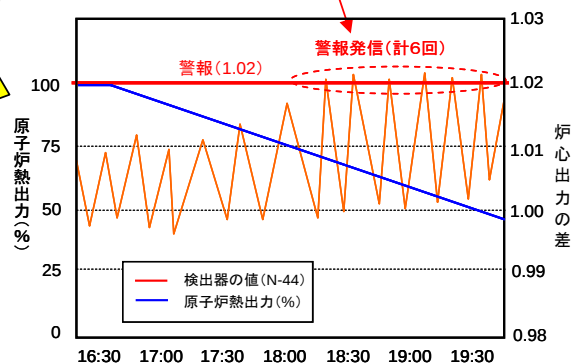
大飯発電所3号機の出力降下中における一時的な運転上の制限逸脱の原因と対策について

事象概要

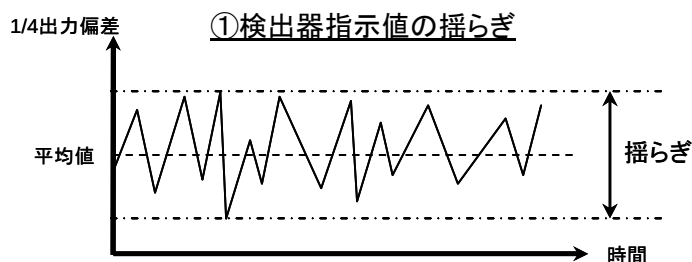
<矢視(上から見た図)>



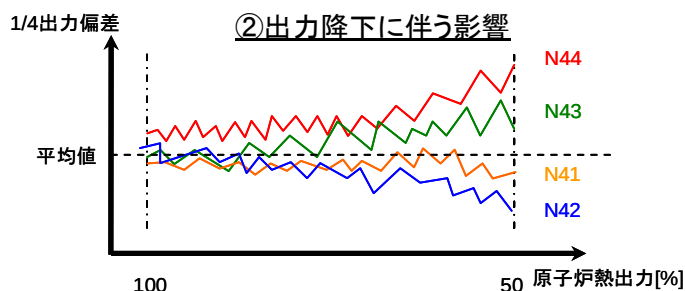
上下それぞれ4分割した炉心出力の平均値と4つの検出器指示値との差(出力偏差)が、一定の範囲(2%)を超えた場合に警報が発信する。



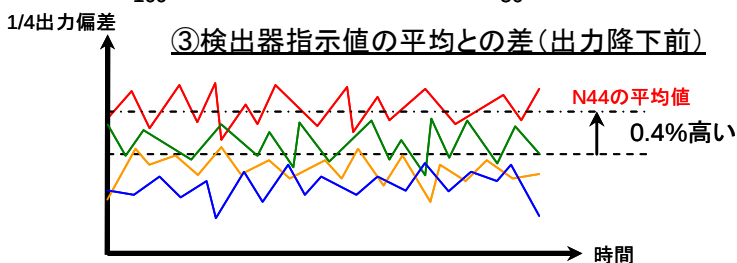
原因



運転中に検出器指示値のわずかな揺らぎがある。



出力降下に伴い、燃料の出力差が顕著になるため、検出器指示値の平均との差が拡大する。



出力降下前から検出器指示値が平均よりも高めに推移していた。

本事象は、①検出器指示値のわずかな揺らぎや②出力降下に伴う影響に加え、③出力降下前から検出器指示値が平均と比べ高めに推移していたことから、一時的に警報が発信したものと推定。

対策

定期検査で出力を降下する前には、事前に検出器指示値を確認し、各検出器指示値が前回校正した値より大きい場合には、検出器の校正を実施する。